



先生たちの夏休み

今日27日(水)は、職員が集まって、研修や職員作業などを行いました。午前中の研修は、学級活動コーナーを充実させるためのグッズ作りです。子供たちが見通しをもてる、学級活動ボードを作成しました。その他にも「ホワイトボード短冊」も作成しました。これは、ホワイトボード用のペンで書き込むことができ、低学年の子供たちでも容易に書いたり消したりができる便利なグッズで、通常は教室後方のドアに下げておきますが、学級会のときに黒板に移動し、貼るだけの手軽さがあります。2学期から子供たちの学級会で活躍することでしょう。

グッズ作りの後は、学年部ごとに分かれて、人権レポート研修を行いました。一学期あるいは、昨年度からの子供たちとの関わりの中での気づきを一人一人がレポートにまとめて報告し合いました。レポートにすることによって、人権問題を自分事として捉え、受け身にならずに自ら関わり、考え、発信することに繋がります。研修の「対話的な学び」によって「新たな気づき」を得て、そこに教員自身の学びが生まれると考えています。

その後は、職員作業を行いました。昨日私と主事の橋本先生で、チェーンソーで緑門周辺の檜の木を剪定しましたので、その枝や葉を職員で集めるという作業でした。暑い中でしたが、全員で協力しながら取り組むことができました。

午後は、タブレットを活用した研修を行いました。教育センターから ICT 支援員を招き、メタ文字の活用方法について学ぶことができました。2学期から授業の中で活かすことができればと思っています。

さらにその後は、備品整理を行いました。法的にも「学校備品の全てを学校備品台帳に記載しなければならない。」と定められています。夏休み期間中に整理と照合をすることで、2学期以降の備品の有効活用につながると思っています。

長い一日となりましたが、帯西の教職員の夏の準備によって、2学期のさらなる充実を図っていきたいと思います。

